令和４年１月１８日

各高等学校剣道部顧問　様

大分県剣道連盟

会長　安部正定

大分県高体連剣道専門部

専門委員長　堀　秀一郎

令和３年度全国高等学校剣道選抜大会大分県予選大会の実施について

　寒中の候、各高等学校剣道部顧問の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大第６波の真っただ中、生徒の安心安全を配慮した教育活動の継続にご尽力される日々をお過ごしのことと存じます。未だ、その終息も見えませんが、本大会の重要性及び今後の日程等を鑑み、最大限のコロナ対策を講じたうえで予定通りの日程で実施いたします。本大会の実施に当たり、下記の点を十分に確認して参加するように監督と選手への周知徹底をお願いいたします。

記

①毎日の健康観察や検温のみならず、大会１０日前から発熱やのどの痛みなどの風邪症状が無いなど、健康状態に問題がないこと。（健康チェックシートの記入と提出）

　※他競技の大会では、発熱は無くのどの痛み等があった大会関係者が新型コロナウイルス感染症陽性であった報告が挙げられています。

②不織布マスクの使用を徹底すること。（チームマスク着用の場合は必ず不織布マスクを併用した２重マスクで着用すること）

③監督・選手の家族に発熱等がある場合は、顧問に連絡して大会参加を見合わせること。

④会場内での飲食は、定められた場所でのみ行い、黙食を徹底すること。また、同チーム内であってもソーシャルディスタンスをとり、会話は行わないこと。

⑤入場時・竹刀検量時も、お互いに３密回避を徹底し無言であることを徹底する。

　※竹刀検量については、安全性と長さと重さのみの確認とします。顧問による事前の確認を徹底してください。

⑥選手を除く大会参加者は、不織布マスクとフェイスシールドの着用をお願いします。

　※フェイスシールドは大会本部でも用意しますが、個人でお持ちの方はご持参ください。

　※審判は、審判席では不織布マスクとフェイスシールドを着用、審判時は不織布マスクのみの着用でよい。

⑦３密回避など、各学校で継続している感染症対策の徹底をお願いします。

以上